はまごう小だより
～わくわく登校　スキップ下校～

伊勢市立浜郷小学校
校長　上地明宏
平成28年6月21日(火)
第12号

屋本先生が市内を代表して算数の公開授業！

6月15日（水）の5時間目、市内の算数部会の先生方が来校し、2年B組の屋本先生の授業を参観されました。

100本以上ある棒の数を数える問題で、10ずつ輪ゴムで束にして整理し、百の位を知り、ことばや数字の表し方を学ぶ学習です。

黒板を見つめる表情がステキ！

浜郷小は今年度算数の授業研究に取り組んでいますが、この学習もその一環です。屋本先生の授業は、緻密な指導計画に基づいたすばらしい内容で、2B の子どもたちが大活躍しました。授業後の研究協議会でも高い評価を得、浜郷小の実力を市内にアピールしました。

なお、算数部会には、屋本先生の他に、西山、長谷川、山下、松村先生が参加しています。

安心・安全な水泳学習を！　PTA救急法

6月16日（木）19時より、体育館においてPTA救急法講習会が開催されました。

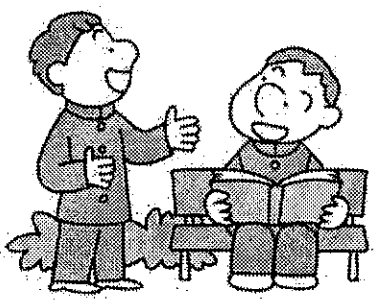
講師は、日本赤十字社救急指導員：成川正邦さん他1名。本部役員をはじめ、PTAの方々が52名参加され、熱心に救急法やAEDの使い方を学びました。

成川さんは、ユーモアあふれる語り口調でみんなを笑わせながら、要所要所を上手に指導してくださいました。

講習後は、校長室で村井 PTA 会長さんとともに改めてお礼を述べましたが、成川さんは黒瀬町のご出身で、二見街道を市電が走っていた頃の話も聞かせていただきました。

みんなで力を合わせて、安心安全な水泳学習を実施したいと思います。

港中の人権の授業に参加しました！



6月9日（木）午後から、港中学校において人権学習の授業が（1年、2年、3年各1クラス）が公開されました。港中校区では、毎年各校が公開し合い、4校が子どもたちの育ちを見守る機会を設けており、本年度最初の取り組みとなります。

浜郷小からは、校長以下、上川、岡田、岡部、松村、西川先生が参加し、授業前や授業後に懐かしい生徒たちと言葉を交わすなど、和やかな時間を過ごしました。わたしは1年4組の「級友たちの長所を見つけ合う学習」を参観しました。卒業生たちは、中学生らしいキビキビした態度で授業に臨み、その成長ぶりがうかがえました。

港中校区の公開授業は今後、6月に大湊小、9月に神社小、11月に浜郷小と続き、港中学校区内の教職員が交流し合う予定です。

プールをきれいに！　水泳授業がはじまります！

6月14日（火）の午後、5、6年生と教職員がプール清掃を行いました。

天気はうす曇りで絶好の清掃日和。入学式や運動会と同様、今回も子どもたちがよく動いて、見る見るうちに底にたまった泥を洗い落としていきました。

きれいになったプールは、これから少しずつ水を入れて、来週の24日（金）から使用できるよう準備を進めていきます。

子どもたちが待ち焦がれる水泳学習ですが、命に関わる学習だけに、もっとも神経を使う学習でもあります。子どもたちの健康管理はもちろん、安全に十分配慮して取り組みたいと思います。

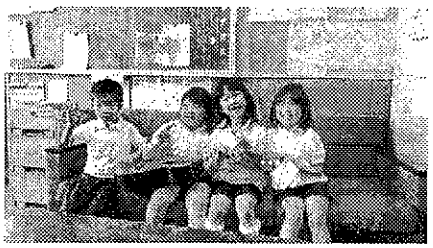
実施期間は、6月24日（金）～7月12日（火）まで（予備日を含む）

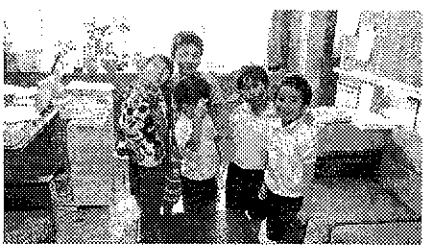
今年度は、水泳学習の最後に全学年で着衣水泳を予定しています。

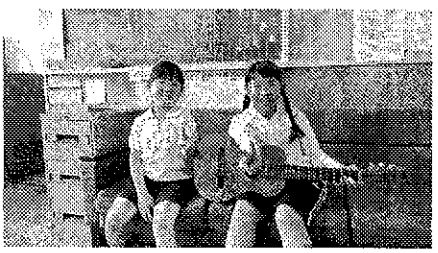
＜お詫びと訂正＞
6月14日付「はまごう小だより」11号で、奥田聖也さんの記録を＜41m87cm　7位＞と記載しましたが、6位の誤りでした。お詫びして訂正します。

校長室へようこそ！

休み時間になると、子どもたちが校長室に集まってきます。教室が近いせいか、やはり1年生が多いようです。中にはお絵かき帳をもってくる子もいます。運動会のこと、週末のこと、子どもたちの話題は尽きません。たくさんの個性に出会えて、とても楽しい時間です。



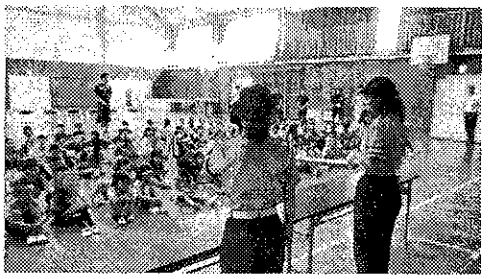




はまごう小だより
～わくわく登校　スキップ下校～

伊勢市立浜郷小学校
校長　上地明宏
平成28年6月27日(月)
第13号

交通安全教室開催



6月21日（火）は、交通安全教室でした。

指導者は、伊勢市交通政策課の職員１名とスクールレディーと呼ばれる交通安全指導員３名です。

体育館では、低・中・高学年別に分かれて、ヘルメットの重要性や正しい自転車の乗り方を学びました。

感心したのは5，6年生です。途中でDVDの映像が映らなくなりました。通常こういう場合、集中力が途切れて騒ぎ出すものですが、辛抱強く静かにじっと待っていました。これには指導者の方々がびっくりされて、「さすが浜郷小」という言葉をいただきました。昨年度から今年度にかけて、浜郷小の子どもたちの姿が大きく変わりましたが、その成果がこういう場でも発揮できて大変うれしく思いました。

当日は、いつもお世話になっている交通ボランティアの方々に、全校を代表して高学年から感謝状を贈りました。その後、会議室で給食を食べながら登校の様子を教えていただきました。

どうぞ健康に気をつけて、これからも子どもたちを見守ってください。

花壇をきれいに！　一色町婦人会

6月20日（月）の午後、今年度も一色町婦人会の方々が校庭の花壇に花を植えに来てくださいました。浜郷小では、園芸委員会の子どもたちがご指導を受けながらポット苗を植えて、水やりをしました。

花は、白と赤のベゴニアと黄色のメランポジウムです。浜郷小の花壇は道沿いにあるので通行する方の目にも留まります。楽しみですね。

婦人会の方々、どうもありがとうございました。

引き渡し訓練　お願いします！

6月30日（木）は、児童の引き渡し訓練を予定しています。

本校では、「暴風警報」や「東海地震注意報」発令等により、児童の帰宅が困難になった場合に備え、毎年引き渡し訓練を実施しています。混乱を避け、安全かつ確実に引き渡しを行うために、地区別の引き渡し時間帯を設けるとともに、運動場への進入方向を定めています。

また、ご面倒ですが、一度校舎へ入り、教室まで迎えに行っていただきます。兄弟姉妹が複数の場合は上の学年から回ります。344名を間違いなく引き渡すためには、回りくどいようでもこの方法が堅実です。

当日はどうぞよろしくお願いします。

ペルー体験記　第２６話

「ペルーの日系校②」

浜郷小　上地明宏

次に訪問したのは、リマ市郊外にある「ヒデヨ・ノグチ校」でした。

あの「野口英世博士」の名を校名に用いているのです。黄熱病の研究に一生を捧げた野口英世博士は、南米でも有名です。日系人たちにとって今も自慢の日本人なのです。

子どもたちの白い運動用のユニフォームの胸と背中には、青で「野口」と漢字でプリントしてありました。初めて見たとき、うれしいような恥ずかしいような、不思議な気持ちがしました。

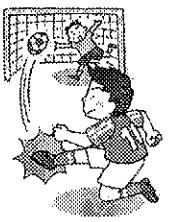
訪問日には、パチャマンカというペルー最高の料理でもてなしてくれました。

パチャマンカとは、穴を掘った土中に焼いた石を入れ、豚肉、鶏肉、ジャガイモ、とうもろこしなどをバナナの葉で包んで蒸し焼きにする、いたってシンプルな料理です。たったそれだけなのに、素材の濃厚な味が口中に広がるのです。

校長先生から、どうして妻子を連れて来なかったのかと叱られました。公務であっても妻子とともに参加する、これがペルーの社交なのです。口はつけませんでしたが、当然のことのようにワインやビールが振る舞われました。

学校敷地内にある校長先生宅の玄関には、付近で出土した遺跡品がズラリと並べられていました。足を折り曲げた少女のミイラまでありましたが、気にせず一緒に暮らすところがペルーらしいところです。

新築したばかりの平屋造りの特別教室棟に案内されました。日本の支援によって建てられた家庭科室です。ペルーにはない教科だからか、担当教諭が見つからないらしく、使用されないまま埃の中に埋もれようとしていました。



子どもたちを引率していったので、「リマ日本人学校」対「ヒデヨ・ノグチ校」でサッカーの親善試合を行いました。リマ日本人学校では、昼休みにはいつも「中学部」対「小学部と教師」でサッカーを行っています。現地採用の日本人教師は、大学時代に「日本サッカー界の父」と呼ばれる釜本選手といっしょにサッカーをした経歴があり、その彼の指導を受けるのですから日本人学校はなかなかのレベルなのです。日系校の意地をかけて対戦し、日本人学校が見事勝利しました。

毎年５月には、日系校５校とリマ日本人学校が参加して日秘（にっぴ）運動会が開催されます。日系の国会議員、大臣、将軍たちが見守る中を開会式が始まり、参加校は色とりどりのユニフォームを着て行進します。日本人学校は、インディオの白いポンチョが恒例でした。

ダンスの部では、子どもも教師もねじり鉢巻きに法被を着て、東村山音頭を踊りました。ダンス指導は毎年新任者の担当で、東村山音頭は埼玉県からの派遣者に指導されました。

小学部から高等部までの陸上記録会もありました。すべてペルー流で、時間通りに召集場所に行っても１時間以上待たされるのはざらで、みんな芝生に寝そべってのんびり待っていました。

学校別教員対抗400mリレーにわたしも出場しました。わたしといっしょにスタートした褐色の選手が、あっという間に彼方へ行ってしまったときは唖然としました。後で聞いたら、ペルーのオリンピック選手だとわかったので、それ以後わたしはオリンピック選手と競い合ったと、変な自慢をするようになりました。

※日秘運動会では、日系人がおはぎやのり巻きなどの日本料理の屋台を出しました。見た目はそっくりでも、味はどこかちがう。疑似日本文化と言えるような食べ物でした。

※パチャマンカも日本料理も、本当に美味しい料理は素材のおいしさを上手に引き出すようです。